



はっとり 服部のりふみ



後援会事務所（自宅）

〒509-7401 恵那市岩村町飯羽間 3126 番地

TEL/FAX 0573-43-3835

HP <http://ccm.enat.jp> E-mail norifumi@ccm.enat.jp

日々の活動は、フェイスブックをご覧ください！

<https://www.facebook.com/hattori.norifumi/>

今年の冬は寒さが厳しく、春が待ち遠しく感じましたが、ようやく暖かい日々が続くようになりました。新年度も始まりそれぞれ気持ちを新たにしていることと思いますが、オミクロン株による第6波もようやく収束をみるようになりました。

本年度は全国山城サミットや嚶鳴（おうめい）フォーラム、世界ラリー選手権（WRC）のビックイベントが恵那市で開催されその予算もしっかり当初予算に計上されました。コロナ禍の影響を受けず、盛大に実施できることに期待したいと思います。

第1回議会定例会の内容

2月15日	第5回議会全員協議会	3月議会上程予定の内、条例や補正予算の説明がありました。
16日	第6回議会全員協議会	3月議会上程予定の内、当初予算の説明がありました。
24日	議会本会議（議案上程）	執行部から25件の議案が上程され、委員会に付託されました。
3月2日	総務文教委員会	8件が承認されました。（所管部分承認2件）
3日	市民福祉委員会	16件が承認されました。（所管部分承認2件）
4日	経済建設委員会	5件が承認されました。（所管部分承認2件）
10日	議会本会議（採決、議案追加上程）	補正予算7件が委員長報告のもと本会議において採決されました。また、追加議案2件が追加上程され委員会に付託、議会からは2件が発議され議決されました。
	総務文教委員会	追加議案1件が承認されました。
	市民福祉委員会	追加議案1件が承認されました。
17日	一般質問	平林多津子、林貴光、佐々木透、伊藤勝彦、西尾努、猿渡南江の6名が登壇
18日	一般質問	安藤直実、服部紀史、柘植孝彦の3名が登壇
22日	議会本会議（採決）	常任委員会に付託されていた20件が委員長報告のもと、一件ごとに審議され、本会議において全て可決されました。また、人事案件1件が追加上程され、直ちに採決、同意されました。

議決内容(主なもの)

条例の一部改正（10件）

主な内容は、福祉医療費助成の対象年齢を15歳から18歳に引き上げるもの、特別養護老人ホーム福寿苑の入所定員を10名増員するもの、消防団員の出勤報酬の額を引き上げるもの、恵那南地区の学校給食センターの統合に伴い岩村給食センターを廃止するもの、国民健康保険法施行令の一部改正に伴う改正などです。

議会発議議案（2件）

令和3年度一般会計補正予算（第9号）において、ささゆりの湯峰源泉ポンプ更新は、これまでの度重なる故障等による臨時的な支出を含め、今後も財政負担が懸念されることから存続を含めた運営方法や修繕費などの財源確保対策を講ずるよう附帯決議が、もう一件は、ロシアのウクライナ侵略に抗議する決議がなされました。

人事案件（1件）

教育長を岡田庄二氏（可児市）とする選任同意です。

補正予算（7件）

一般会計ほか6会計で事業精算等による令和3年度の補正予算で、補正予算の合計額は、7億5,270万7千円（補正後の全会計の予算額は、540億8,358万円）です。

新年度当初予算（10件）

- 一般会計（+1.0%）
- 国民健康保険事業特別会計（+1.0%）
- 介護保険事業特別会計（+4.4%）
- 遠山財産区特別会計（-）
- 上財産区特別会計（-）
- 後期高齢者医療特別会計（+6.4%）
- 水道事業会計（+8.3%）
- 下水道事業会計（+8.0%）
- 病院事業会計（△14.1%）
- 国民健康保険診療所事業会計（+12.0%）

<新年度の重点事業>

- ・えな地域ブランド推進事業
- ・アウトドアレジャー普及促進事業
- ・モータースポーツ推進事業
- ・スマート農業技術導入支援事業
- ・たべる推進事業
- ・恵那スマートテロワール事業
- ・子ども等福祉医療費助成事業（高校生世代への医療費支援）
- ・交通コンシェルジュ設置事業
- ・えなの木省エネ住宅建設支援事業
- ・土砂流入被害復旧支援事業
- ・SDGs推進事業
- ・消防団員処遇改善事業
- ・中央公園再整備事業
- ・こども園、中学校トイレ洋式化事業
- ・ICT教育の充実
- ・全国山城サミット恵那大会開催事業

<町内の主な事業>

旧岩村振興事務所活用概略設計、岩村城登城路整備、飯羽間城整備、下田歌子勉学所改修、加納家壁面修繕、土佐屋木塀修理、伝建地区修理補助（4件）、打杭ため池、姥ヶ洞ため池の補強整備、災害復旧工事などです。

※いずれの議案も賛成しました。詳細は、後日議会事務局から発行される「議会だより」をご覧ください。

その他の議員活動(主なもの)

1月3日	三区新年総会	2月10日	第4回議会全員協議会（リモート）	3月4日	第7回議会全員協議会
4日	新政会及び自民党恵那支部新年互礼会	11日	建国祭	7日	第8回議会全員協議会
11日	地域自治区運営協議会役員会	12日	旧振興事務所の活用に関する打ち合わせ	10日	広報聴取特別委員会
13日	第1回議会全員協議会（リモート）	15日	議会だより編集会議	11日	岩邑中学校卒業式
18日	第2回議会全員協議会（リモート）	17日	三森山登山道被災箇所の現地確認	14日	リニア中央新幹線対策特別委員会
25日	第3回議会全員協議会、議会だより編集会議	21日	恵那南中学校遠隔交流事業の見学会	15日	土地開発公社理事会
27日	岩村城環境改善連携協定式、観光協会岩村支部理事会	24日	地域自治区運営協議会役員会	17日	第9回議会全員協議会
2月8日	議会だより編集会議	25日	一般質問順抽選	23日	第10回議会全員協議会、議会だより編集会議
9日	新政会勉強会	27日	自民党恵那支部役員会	24日	岩邑小学校卒業式、地域自治区運営協議会役員会

一般質問(概要)

一般質問とは、議員が市の仕事全般について、現状やこれからの考えについての質問や政策提言を行うことができるもので、定例会だけで行われています。今回の一般質問は、「高齢化が進展する中でも安心して暮らせる社会の充実を図る」という私の掲げるテーマから、「人口減少社会における国民健康保険の現状と課題について」と「高齢者が安心して健康で暮らせる地域の充実について」を取り上げ、一般質問を行いました。以下に主な質問と、執行部からの答弁を要約により紹介します。

人口減少社会における国民健康保険の現状と課題について

(質問の背景)

人口減少や少子高齢化が急速に進む中で、医療費や保険料の抑制のためにも、市民一人ひとりが健康であることが保険料の抑制にとって大切であると考えます。令和6年度からは、県下において保険料水準の統一化が始まりますので、今後の進め方などについて伺いました。

質問 国民健康保険料の現状は？

回答 保険料は、令和3年1人当たりの保険料調定額90,438円で、県内21市中2番目に低い額です。所得に応じて保険料の均等割、平等割が軽減された世帯は、医療分・後期支援分では全世帯の約6割が保険料の軽減の適用を受けています。(市民サービス部次長)

質問 コロナ禍による影響や対応は？

回答 保険料の納付の困難な方への納付相談、社会福祉協議会の相談員による生活相談を随時行い保険料納付の猶予、保険料の分割納付など行っています。(市民サービス部次長)

質問 被保険者数の今後の見込みは？

回答 今後も人口の減少や団塊の世代が75歳に到達し後期高齢者医療制度に移行する2025年をピークに年間200~300人程度の被保険者が減少することが推測されます。(市民サービス部次長)

質問 医療費の今後の見込みは？

回答 被保険者数の減少が続き、医療費総額は大きく増加することはないと見込まれます。一方で被保険者のうち、中・高齢者が占める割合が高くなることや、医療費の高度化などから一貫して一人当たりの医療費は増加すると見込まれます。(市民サービス部次長)

質問 保険料水準の統一化に向けての考え方は？

回答 恵那市は、県内でも一人当たりの保険料が低い状況です。このため県内の保険料を統一していく際には、保険料が上昇することが見込まれます。この上昇を抑制、緩やかにするためにも、国民健康保険運営に関する協議会に諮り国民健康保険基金を活用していくことになると考えます。(市民サービス部次長)

質問 特定健診の受診状況と受診率向上に向けた取り組み状況は？

回答 被保険者の意向をつかむためアンケート調査を5月の受診券発送と同時にし、集計結果や意見を令和4年度にも反映させ受診率向上を推進していきたいと考えています。(市民サービス部次長)

質問 すこやか健診、さわやか口腔健診の受診状況と受診率向上に向けた取り組み状況は？

回答 今年度から本格的に取り組みを始めた高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の他、健診の周知、壮健クラブへの勧奨も高い受診率の向上を推進していきます。(市民サービス部次長)

質問 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の取り組み状況は？

回答 後期高齢者への生活習慣病重症化予防対策と心身の機能の衰え予防するフレイル対策と合わせ、健幸推進課、地域包括支援センターが連携を図り、今年度から本格的に取り組みを開始しました。(市民サービス部次長)

高齢者が安心して健康で暮らせる地域の充実について

(質問の背景)

第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画(令和3~5年度)から“比較的元気な高齢者が地域で安心して健康で暮らせる“ことを目的とした施策から、地域で暮らすために必要と思われる項目について現状や今後の取り組みについての考えを伺いました。

質問 高齢者の見守りに関して、緊急通報システム設置事業(リズムセンサー)の状況は？

回答 リズムセンサーは、人の動きを感知するセンサーを緊急通報システムと併せて設置し高齢者からの発信だけでなく、24時間センサーに反応がない場合には委託業者が安否確認を行っている。利用対象者は、要介護認定者など緊急事態に自分で通報することが困難な方で、48人がリズムセンサーを併用している。(医療福祉部次長)

質問 高齢者の見守りに関して、ICTやアプリを活用した地域ごとの見守りに関する検討状況は？

回答 地域の独自の取り組みとして、地域の協力企業による協賛等で機器代金や初期費用を賄うとともに、利用者が負担する使用料の一部が地域活動費に充てられ、地域ぐるみで見守る仕組みとなっている。現在、この人感センサーを設置しているのは、三郷町で2軒、笠置町で15軒、飯地町で8軒となっている。(医療福祉部次長)

質問 公共交通対策では解決できない高齢者の外出支援策は？

回答 三郷町、笠置町、中野方町、山岡町では、道路運送法上の許可や登録を要しない無償運送サービス、飯地町や串原では、法律の適用を受ける有償運送サービスが実施されている。これらが持続可能な仕組みとなるよう多様な制度や公共交通資源(タクシー等)を活用しながら、地域の実情に適した移動手段が確保できるよう補助制度も視野に入れ地域住民と協力しながら引き続き検討する。(医療福祉部次長)

質問 買い物弱者に対する支援策の検討状況は？

回答 買い物をするための移動手段がない高齢者や、生活必需品の購入が困難になりつつある地域においては、必要な取り組みが実施されるよう自治会代表や民生委員、社会福祉協議会、介護事業所などが参加する地域ケア推進会議などで検討している。先進事例の水平展開や、地域にあった取り組みを地域の方々と引き続き検討したい。(医療福祉部次長)

質問 壮健クラブの会員数の傾向や活動状況は？

回答 全国及び岐阜県の数値をみると、壮健クラブ数及び会員数ともに減少傾向を示している。市内のクラブ数も同様に減少傾向であり、最近特に恵南地域での減少が多い。会員数は5年前と比較して910人減少している。活動状況としては、会員増強、友愛活動、伝承・世代間交流、軽スポーツ・健康づくり活動、広報宣伝活動、文化部活動、各単位クラブ活動と多岐に及んでいる。(医療福祉部次長)

質問 高齢者福祉計画・介護保険事業計画に位置づけた壮健クラブに関する目標値と支援の内容は？

回答 元気な高齢者が仲間とともに生きがいを持って暮らせることは、心身ともに健康でいられる重要な要素であり、壮健クラブの活動は、大変重要な役割があると認識している。高齢者がいつまでも生きがいを持ち、心身ともに健康でいられる活動を実施できるよう補助金の交付や関係者間の調整などの支援を引き続き行っていながら、会員の増加対策についても一緒に考え実施目標を達成したい。(医療福祉部次長)

議会を終えて

本議会は、改修後のバリアフリー化された議場での議会となりました。新たな議場に入った瞬間、とにかく明るくなったのと、市内産材等の木材がふんだんに使用してあるため、木のなんともいい香りにまずは驚かされます。段差の解消やスロープの設置によるバリアフリー化も大きな目的でしたが、自席に着座してみると全体的に高低差がなくなっており、傍聴席からの視線もかなり低く感じ、議場全体に一体感ができた気がしました。改めて、新たな議場で心機一転、頑張らなければと思ったところです。

さて、本定例会において、新年度予算や新制度の説明を聴く中で、昨年からの一般質問で提言や提案をしてきた内容が少しずつ反映されており、少しうれしく思ったところがあります。この関係は、改めて整理して皆さんにお知らせしたいと考えていますので、よろしくお祈りします。

次回こそは、コロナが収束し新たな議場に足を運んでいただけることに期待したいと思います。

次号は、6月議会終了後に発行する予定です。皆様のご意見やご感想をお聞かせください。